

科目名称 (Course Title)				担当教員(Instructor)	
周産期・先天異常学				岡本 悦司	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2 単位	2 年次	講義	無	非公開
授業の概要 (Course Description)					
<p>周産期医学は産婦人科に対応しており、正常な妊娠の兆候・成立から出産までの、生命が誕生するに至るメカニズムについて学ぶ。また新生児の特徴や発達、および母体の加齢と悪性腫瘍の発生・治療、新生児期から思春期に至る成熟の障害、生殖器の異常や検査・処置法等について理解する。そして、妊娠・分娩、および産褥における各種の障害について詳しく学ぶ。</p> <p>周産期医学では、不妊治療、出生前診断そして妊娠中絶等が社会的にも関心を呼んでおり、また先天異常学では、不妊治療による先天異常の発生リスク、出生前診断で発見できる先天異常の種類、出生前診断の普及に伴う「選択的中絶」といった法的倫理的問題についても扱う。</p> <p>他の科目と同様、毎回小テスト(持ち込み不可)を行う。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正常な妊娠・出産のメカニズムについて説明することができる。</li> <li>・ 妊娠、分娩、産褥各期の正常経過が説明することができる。</li> <li>・ 妊娠、分娩、産褥各期における障害や合併症、その検査・治療法について列挙できる。</li> <li>・ 新生児の異常における病態、および検査・治療法を列挙できる。</li> <li>・ 先天異常のうち出生前診断で発見可能なものを列挙できる</li> </ul>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	妊娠の兆候・成立他、胎児の発育・胎盤				
第 2 回	妊娠による母体の変化・生活（薬物・飲酒・放射線他）、陣痛のメカニズム・分娩の経過				
第 3 回	妊娠・出産に関わる処置帝王切開術・鉗子分娩・不妊手術・検査・法律 他				
第 4 回	新生児の特徴・症状				
第 5 回	赤ちゃんの栄養・生理母乳・カウプ指数 他				
第 6 回	こころと体の発達運動機能、言語の発達、知性の発達他				
第 7 回	妊娠、分娩及び産じょく(1)正常分娩、流産 他				
第 8 回	妊娠、分娩及び産じょく(2)妊娠高血圧症候群・悪阻・多胎妊娠 他				
第 9 回	妊娠、分娩及び産じょく(3)分娩の合併症、産褥性敗血症 他				
第 10 回	周産期に発生した病態低出産体重・新生児仮死 他				
第 11 回	神経系の先天奇形				
第 12 回	循環器の先天奇形				
第 13 回	性器, 尿路の先天奇形				
第 14 回	染色体異常				
第 15 回	不妊治療による先天異常発生率				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
なし					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法	(割合) 評価基準
	( %) 期末試験を行う(持ち込み不可) ( %) 毎回の小テストと期末試験の成績の良い方を最終評価とする。 ( %)
テキスト (Textbook)	【書名】 診療情報管理 I 【著者】 基礎課程小委員会 【出版社】 日本病院会 【出版年】 2016
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	
備考 (Other Information)	
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	メールアドレス:okamoto-etsuji@fukuchiyama.ac.jp 火～金は研究室にいますのでいつでも可